

令和6年度宗務計画書

所 管 部 署	総合研究センター	作 成 日	令和6年4月4日
---------	----------	-------	----------

業 務 名	未来創生研究部門業務	業務事業コード	C148
実 施 根 拠	■宗制 □内規 □その他 ()		
	規程等の名称	曹洞宗総合研究センター規程第12条第2項	

直接経費の予算科目

会計区分	歳出科目	款-項-目-節	科目名
一般会計	経常部	11-3-1	未来創生研究部門

宗 務 計 画

【業務の目的】

急激な時代の変化に適応し、且つ、両祖の教えに根差した曹洞宗の宗教的意義を宣揚すべく、社会の動向や多様性への理解を深め、宗門の社会的貢献に繋がる研究を行うことを当部門の基本方針と掲げ、これら研究成果をセンター刊行物等での公開や教化資料等の作成、宗侶、寺族、徒弟などを対象とした学び場の提供をもって「本宗の活力の向上」と「本宗の持続的発展」「教師の養成」に寄与することを当部門の研究目的とする。

【業務の内容】

・ **宗侶養成資料の作成**

本事業は令和5年度までの宗侶養成資料（令和5年度までは「パッケージ資料」と表記）の事業を引き継ぐものであるが、出版費用の問題解消から、公開方法を一部変更するものとする。

従来この事業は総合研究センターがこれまでに蓄積した研究成果を網羅的に把握・分析し、その要点を集約した、本宗の未来や教師養成に資する宗侶養成資料の作成を企図したものであったが、常任研究員の減少により、資料完成までの期間が大幅に延長されること、また大部の資料となると出版にかかる費用が膨大になるおそれがあることを考慮し、布教の現場における実用性を重視した教材の作成へと変更し、逐次、センターホームページ等に公開していく予定でいる。

・ **SDGs 研究（女性の社会進出における調査）**

宗意高揚を目的とした更なる女性の活躍の場を設営するためには、どのようなことが必要となるかを明らかにするため、女性の活躍が顕著な他教団を中心に、女性僧侶の進出および、得度や修行など、どのような制度設計がなされているのか調査を進めたい。（その成果は逐次センターホームページ等で公開していく）その第一歩として令和5年10月4日浄土宗増上寺様を訪問し、女性僧侶の方がたへ聴き取り調査を実施した。

・ **映像資料作成**

宗門の住職、副住職、徒弟、寺族の学び直し、寺族の学びとなるような映像資料を作成し、編集の後、曹洞禅ネットにおいて公開することを予定している。

【成果目標・実績】

		令和6年度
宗 侶 養 成 資 料 作 成 数	実績	
	目標値	6
映 像 資 料 作 成 数	実績	
	目標値	3

※ 宗侶養成資料の原稿を禅ネット、宗報にて年6回公開する予定。

※ 映像資料を年3回公開する予定。

【活動目標・実績】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
宗侶養成資料作成数	実績	-	-	-	
	目標値	-	-	-	10
映像資料作成数	実績	-	-	-	
	目標値	-	-	-	5
被災地支援活動		2	3	3	
		2	3	3	3

※ 宗侶養成資料の原稿執筆、校正作業のため年10回（うち4回がオンライン）の会議を開催予定。

※ 講師選定などのため、年5回の会議を開催予定。

【予算額・内訳】 令和5年度以前は未集計。

千円（百円以下は四捨五入）

		令和6年度
予算額	直接経費	2,802
	人件費	11,917
	合計	14,719

【執行額・内訳】 令和5年度以前は未集計。

千円（百円以下は四捨五入）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
執行額	直接経費	-	-	-
	人件費	-	-	-
	合計	-	-	-